

「まちづくりシンポジウム」の開催について

“サステナブルなまちづくり～どうする！コンパクト・プラス・ネットワーク～”

県では、県民のまちづくりに対する意識の向上を図るため、昭和61年度より「まちづくりシンポジウム」を開催しております。

今年度は、「住み続けられるまち」の実現を目指して自動運転バスの定常運行等を行っている境町において、「サステナブルなまちづくり～どうする！コンパクト・プラス・ネットワーク～」をテーマに「まちづくりシンポジウム」を開催し、交通も含めた新たな持続可能なまちづくりのあり方を考えていきます。

また、まちづくり・景観等に対する県民の意識の高揚と、まちづくり活動促進のため、モデルとなるような団体・取り組みを表彰する「第5回チャレンジいばらきまちづくり表彰式」も行います。ぜひご参加及びご取材をお願いします。

1 日 時 令和5年1月12日（木） 13：00～16：00

2 場 所 境町中央公民館

3 参加費 無料（要事前申込：県都市計画課ホームページから）

4 主 催 茨城県・境町・茨城県都市計画協会

5 内 容

○ 第5回チャレンジいばらきまちづくり表彰式 【13：10～13：30】

<チャレンジいばらきまちづくり大賞>

三鉄ものがたり実行委員会（三鉄ものがたり実行委員会による、地域のにぎわいづくり活動）

<優秀賞>

小美玉市（小美玉市陸の玄関口～JR羽鳥駅橋上化の完成～）

○ 基調講演『境町で考えるコンパクトなまちづくり』 【13：30～14：10】

講師：谷口 守 様（筑波大学システム情報系社会工学領域教授）

○ 特別講演『境町における公共建築とこれからのサステナブルなまちづくり』

【14：10～14：20】

講師：隈 研吾 様（建築家）（ビデオ録画による出演）

○ パネルディスカッション『サステナブルなまちづくり』 【14：30～16：00】

コーディネーター：谷口 守 様（筑波大学システム情報系社会工学領域教授）

パネリスト：鎌田 実 様（日本自動車研究所所長・東京大学名誉教授）

饗庭 伸 様（東京都立大学都市環境学部都市政策学科教授）

今 佐和子 様（国土交通省関東地方整備局建政部都市整備課長）

橋本 正裕 様（境町長）

【本件に関するお問い合わせ先】

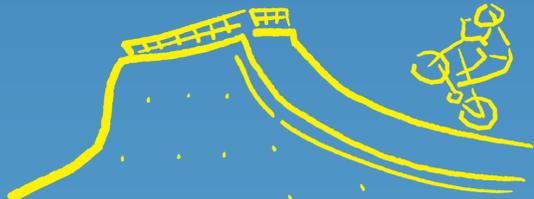
茨城県土木部都市局都市計画課

○まちづくりシンポジウムに関すること 企画調整G 担当：竹廣・須長

TEL：029-301-4583（直通） FAX：029-301-4599

○チャレンジいばらきまちづくり表彰に関すること 都市行政G 担当：浦浪・海老原

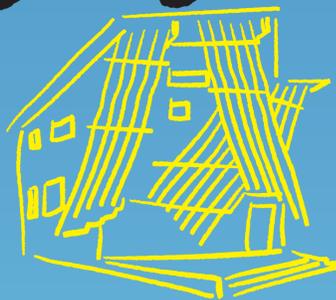
TEL：029-301-4579（直通） FAX：029-301-4599



まちづくりシンポジウム2022



サステナブルな まちづくり



どうする！コンパクト・プラス・ネットワーク

日時 令和5年

1月12日 木

13:00～16:00 [受付 12:30 開始]

※事前登録受付期間

令和4年11/25 [金]～令和5年1/10 [火]

入場
無料

事前登録制



▶ 参加申込は
こちらから



<https://www.pref.ibaraki.jp/doboku/toshikei/kikaku/machi/sympo2022.html>

茨城県都市計画課 HP からもお申込できます。

会場

茨城県
境町中央公民館
境町 395-1 (境町役場庁舎隣)

■ 基調講演

「境町でコンパクトなまちづくりを考える」

講師：谷口 守 筑波大学システム情報系
社会工学科教授



谷口 守

■ 特別講演 (ビデオ出演)

「境町における公共建築と
これからのサステナブルな
まちづくり」

講師：隈 研吾 建築家



隈 研吾

■ パネルディスカッション

コーディネーター：

谷口 守 筑波大学システム情報系
社会工学科教授

パネリスト：

鎌田 実 日本自動車研究所所長・東京大学名誉教授

饗庭 伸 東京都立大学都市環境学部
都市政策科学科教授

今佐和子 国土交通省関東地方整備局
建設部都市整備課長

橋本 正裕 境町長

■ チャレンジいばらきまちづくり表彰式



境町の隈研吾建築群を
めぐるスタンプラリー



さかい河岸レストラン茶蔵：隈研吾による建築。往時の賑わいを食を通じて再現する新スポット。

サステナブルなまちづくり

まちづくりシンポジウム2022

～どうする！コンパクト・プラス・ネットワーク～ in茨城県境町



令和5年

11/12 (木)

13:00～16:00

(受付12:30開始)

茨城県境町中央公民館

(境町役場庁舎隣) 交通案内・駐車場MAP裏面

事前登録受付期間

令和4年11/25(金)[10:00]～

▼参加申込みはこちらから

<https://www.pref.ibaraki.jp/doboku/toshikei/kikaku/machi/sympo2022.html>



- ・定員に達し次第申し込みを締め切らせていただきます
- ・茨城県都市計画課HPからお申込できます。
- ・後日アーカイブ配信予定(配信URLは県HPに掲載します)

同時開催

境町の 隈研吾建築群 をめぐる スタンプラリー

(詳細裏面)



事前登録制・入場無料



人口減少や高齢化が進むなか、交通も含めた持続可能なまちづくりが求められています。自動運転バスが走る境町で、まちづくりや交通の専門家とともに、皆さんも一緒に考えてみませんか。



基調講演

「境町でコンパクトなまちづくりを考える」

講師 谷口 守

(筑波大学システム情報系社会工学域教授)



特別講演(ビデオ出演)

「境町における公共建築と これからのサステナブルなまちづくり」

講師 隈 研吾 (建築家)

パネルディスカッション

コーディネーター

谷口 守

筑波大学システム情報系社会工学域教授

パネリスト

鎌田 実

日本自動車研究所所長・東京大学名誉教授

饗庭 伸

東京都立大学都市環境学部都市政策科学科教授

今 佐和子

国土交通省関東地方整備局建設部都市整備課長

橋本 正裕

境町長

(敬称略)

チャレンジいばらきまちづくり表彰式

県都市計画課



●会場では、マスクの着用をお願いいたします。●入場時に検温を実施しますが、37.5度以上ある方は入場をご遠慮願います。
●新型コロナウイルスの感染状況により、開催方法を変更する場合があります。開催方法の変更については、茨城県都市計画課のHPでお知らせいたします。

まちづくりシンポジウム2022開催記念



ウォーカブルスタンプラリー

当日限定

令和5年1月12日(木) 9:00~17:00

参加費無料

スタンプを集めて「道の駅さかい」の人気商品をGET!

参加方法

路面標示に沿って回遊ルートを巡り、各拠点の施設入り口付近に設置しているスタンプを集めよう!
全部集めたら道の駅インフォメーションで、特典(道の駅人気商品)がもらえます!



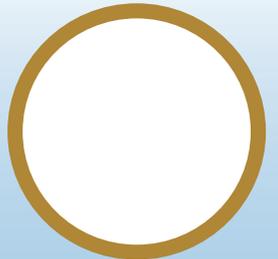
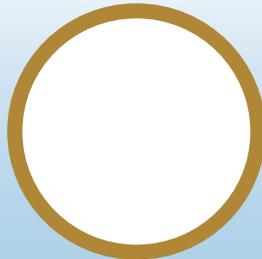
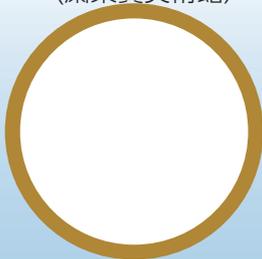
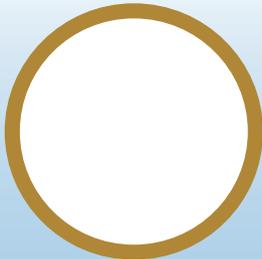
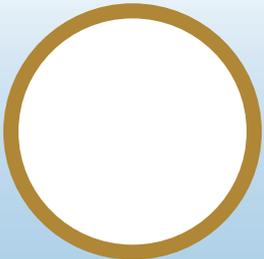
1 道の駅さかい

2 さかい河岸レストラン 茶蔵 (SHED)

3 S-Galley (肅祭寶美術館)

4 S-ブランド (干し芋カフェ)

5 河岸の駅さかい (さかい河岸ベーカリー)



主催: 境町・境町観光協会 協賛: 株式会社さかいまちづくり公社 お問い合わせ先: 境町都市計画課 TEL: 0280-81-1311 / 道の駅さかい TEL: 0280-87-5011

シンポジウム会場

茨城県境町中央公民館

境町395-1



駐車場について

- 駐車場は指定制となります。主催者からメールで送付される駐車票をご提示ください。
- P4境町民体育館駐車場からは会場行きのシャトル便を運行します。

アクセス

- 圏央道境古河ICから車で約10分
- JR古河駅 / 東武線東武動物公園駅から 朝日バス「境車庫」方面 | 約40分 「境小学校前」下車
- 東京駅から 高速バス東京駅境町線 (8:50発 10:50発) | 約80分
自動運転バス 「境町高速バスターミナル」 | 約40分 「境町役場入口」下車

Twitter 境町自動運転バス(ARMA) 運行情報



自動運転バスの運行情報は こちら



第5回チャレンジいばらきまちづくり表彰 受賞者の決定について

【目的・効果】まちづくり・景観等に対する県民の意識の高揚と、まちづくり活動の促進のため、モデルとなるような団体・取り組みを表彰する。

【応募・選考方法】市町村長等から提出された推薦調書により審査委員会が活動の内容を審査し、その内申に基づき、土木部長が受賞者を決定する。

<チャレンジいばらきまちづくり大賞（知事表彰）>

最もチャレンジ精神に富み、かつ優秀な成果を上げた者

受賞団体：三鉄ものがたり実行委員会

事業名：三鉄ものがたり実行委員会による、地域のにぎわいづくり活動

「三鉄ものがたり実行委員会」は「ひたちなか海浜「鉄」道」に乗る、「鉄」道模型を思い切り楽しむ、那珂湊焼きそばの「鉄」板を楽しむ、これら三つの「鉄」が名前の由来となった団体で、地域の有志達によって様々な企画・イベントが催されている。

同委員会では、①鉄道模型用レイアウト(Nゲージ)の定期的な無料開放、②ひたちなか海浜鉄道と那珂湊焼きそばを楽しみながらひたちなか市の那珂湊地区を周遊する企画、③全国鉄道検定試験、④格安切符で遠足に出かける「大人遠足」など、地元ひたちなか海浜鉄道を活かした様々なユニークな活動を通し、鉄道ファンの聖地化及び鉄道ファン憩いの場としてのにぎわいづくりや県内外からの誘客に大きく貢献した。



鉄道模型用レイアウトが設置されている「ひたちなか開運鐵道神社」(阿字ヶ浦駅)
*「三鉄ものがたり実行委員会」がクラウドファンディングを実施し、460万円以上の資金を集めて建立された

<優秀賞（土木部長表彰）>

〔都市空間部門〕

優れた都市空間や公共施設等の整備を行った者

受賞団体：小美玉市

事業名：小美玉市陸の玄関口～JR羽鳥駅橋上化の完成

駅施設のバリアフリー化がなされず、駅舎の改札口が西口にしかないことで交通渋滞が発生していた「羽鳥駅」を橋上化し、ウォークスルー型エレベーターの設置や公衆トイレ及び多目的トイレを整備してバリアフリー化を進め、東西自由通路を設けるなど、誰もが安心安全に利用できる駅舎を整備した。

東西自由通路内には、小美玉市民にアンケートを行い、小美玉市の誇れる特色を集め、市民との協働作業で創作したモザイクタイルアートを設置し、また、駅周辺整備事業として福祉車両・タクシー・バス・一般車の乗降場整備、東口有料駐車場整備等を行い、交通結節点としての機能強化を行った。



橋上化された羽鳥駅外観



羽鳥駅東西自由通路



モザイクタイルアート(ダイヤモンド筑波)